

グループ名 ・代表者名	NPO 法人いわき放射能市民測定室 たらちね 織田 好孝	助成金額	50万円
連絡先など	0246-92-2526 tarachine@bz04.plala.or.jp		
助成のテーマ	市民による食品・体内放射能測定と脱原発をめざす活動		

### 【調査研究の概要】

いわき放射能市民測定室たらちねは、2011年3月11日の東京電力福島第一原発の事故による放射能被害のために地域の人々の手により開かれた放射能測定室です。

事故直後の開所時から、自家消費のための食材を中心に測定し、食べることが可能か不可能かの選別を測定によって行ってまいりました。文字通り「野戦病院」として活動し、地域住民の生死にかかわる測定を行ってきました。2012年度の測定は、2011年の開所から月日が一回りし、セシウムの汚染状況の変化など確認しながら測定を行うことにより、食品の線量をみるだけでも「汚染は移動する」ことが分かる結果となりました。また、事故後の曖昧な行政の危機管理により、その健康を危険にさらされている子どもたちをめぐる環境の汚染についても把握しなければならないとの考えから、地域の母親たちと共に、環境の測定や、お弁当のおかずの市販品の測定など行いました。子どもをとりまく環境はとても厳しいものです。セシウムの値は30年間変わらないと言われていたのに、子どもたちは「もう1年経ったから」との認識から、砂ぼこりの舞い散る外での活動を強要されています。呼吸から内部被曝することはホールボディカウンターの測定で、すでにわかっていることです。それなのに、まったくその点に気遣わない、今の社会の在り様を考えると、子どもにとって、未来にとって危機的な状況であると感じます。

さらに、学校を始めとする教育現場では放射能に気をつける子どもは「特別な子ども」と見られて、教師から特別扱いされるなどの心理的な虐待をうけていることも母親たちの大きな心配の一つです。心を守るために、身体の健康を守ることをやめたという母親もいます。教育委員会や、地域の行政には、この問題に早急に対応していただき、心身共に子どもの健康が守られる社会をつくっていただきたいと思います。そのために測定を行うことを続けていきたいと思います。

その他の測定としては、海岸の砂浜の測定や、高濃度放射性物質のための焼却炉にかかわる環境測定など、引き続き行ってまいります。

また、2013年3月から子どもたちの甲状腺の検診事業も開始いたしました。早い段階で病巣を見つけ対応することと、健康であるならば検診を受けて確認し、余計な心配のストレスが起きないようになど、心と身体の役に立てる活動をめざしています。

このように、測定することは生きることであり、心と身体の両方を支えることであり、未来を考えることです。いわき放射能市民測定室は、これからも変わらず地域のみなさんのお役にたつために努力を続けてまいりたいと思います。

### 【調査研究の経過】

・食材・水・土壌・資材の放射能測 (AT1 3 2 0 A ・LB2 0 4 5 による放射能測定)

食品・土壌・資材・水の累計測定件数は約4000件。

2011年3月11日の原発事故後、食べることが生きるか死ぬかのどちらなのかを知るための測定であり、成果と言えることは、高線量の放射能を含むものを測定し発見することにより、地域住民の命と健康を守ることに役立ったことが成果であると考えている。

・ホールボディカウンターによる人体の放射能測定 (AT1 3 1 6 ホールボディカウンターによる測定)

ホールボディカウンターによる人体の累計測定件数は約2000件。

医療機関と違い、普段着を着たまの測定から入ることにより、生活の中の被曝を見つけることができた。衣服が被曝している事実を発見し、被検者のその後の暮らしに役立てることができた。

また、家族全員3世代以上のファミリー測定を行うことにより、生活習慣の中の被曝の危険を発見した。食べ物・畑仕事による砂ぼこりの吸引・ペットの世話からの吸引による被曝など。

(つづき)

- ・ソルガムによる除染の実験（作付実験）

作付け、収穫の前後の土壌測定において、ソルガムによるセシウムの除染効果はほとんどみられないと判断した。土壌の測定線量に変化がなかった。ソルガムについては、すでに実験しているメーカーがあるということは承知していたが、実際に行ってみたところ、過去の実験データとは違う結果がでた。土壌の性質や、ソルガムの種類（種類はたくさんある）によっても違うのか解明するにいたってはいない。

- ・海岸の砂測定（AT1320A・LB2045による土壌測定）

海岸の砂浜の測定を開始。

砂浜は3層から4層に分けて採取しそれぞれの層の放射線量の測定を行う。一般の土壌と違い、汚染の移動の様子が直接的に表れることがわかった。汚染の実相を知るために今後も継続しなければならない測定である。

現段階で成果ということは見えていない。

- ・環境汚染マップの作成（サーベイメーターによる空間線量測定）

行政のモニタリングポストとの測定値の差がでたことと、きめ細かく測定することで、子どもに近い場所の汚染を発見することが多かった。

子どもを取り巻く環境の放射能汚染を知ることがでたことが大きな成果である。

- ・専門家による講演会や勉強会を主催し、地域の人々とともに放射能について学んだ。

今中哲二（京都大学准教授） ・木村真三（獨協大学准教授） ・木村守和（医師） ・マクシンスキー（ベラルーシ保養所所長） ・西尾正道（北海道がんセンター院長）

・測定室のアドバイザーである木村真三氏の講演会と共に、たらちね測定報告会を公開で行った。報告会は当団体の総会や高木基金の勉強会などの機会にも行った。内容は、日々の食材の測定値のデータ発表を中心に、暮らしに役立つ内容である。

- ・メディアの取材は被災地であるということで多数あったが、特に海外のメディアの取材が多かった。
- ・測定室のホームページでは、季節により高い放射能を含む食材のお知らせなどは積極的に行なった。

#### 【今後の展望など】

- ・今後の取り組みについて


- ・食品・水・土壌・資材・人体の基本的な放射能測定は今後も続けていく。

・環境の測定として、海岸の砂浜測定、子どもを取り巻く地域の中の環境測定を引き続き行っていく。特に、子どもを取り巻く環境については、母親グループの協力を得ながら実質的に役立つデータとして集めていきたい。

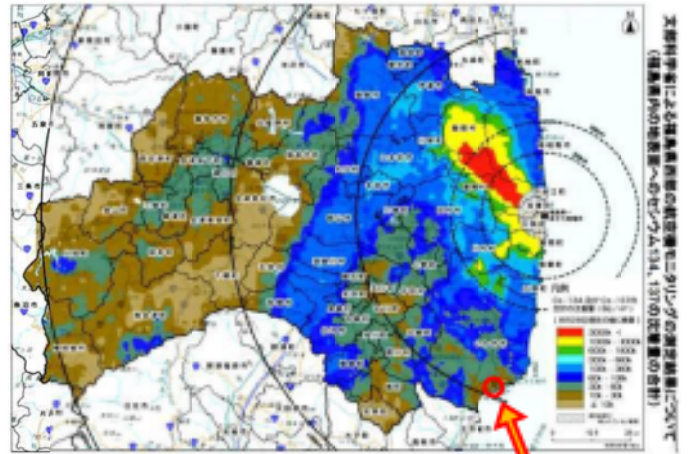
・甲状腺検診プロジェクトをスタートさせる。地域の子どものための甲状腺検診を行うことにより心配されているヨウ素被曝による甲状腺機能の低下に早期に対応できる地域の体制をつくっていくことに役立ち、一人でも多くの子どもの健康の役に立てるよう活動する。

会計報告書の概要（金額単位：円）			充当した資金の内訳		
支出費目	内 訳	支出金額	高木基金の 助成金を充当	他の助成金 等を充当	自己資金
旅費	他の測定室の見学	87,280	50,000		37,280
資料費	アドバイザーによる勉強会・会場費・謝礼・ 宿泊費・交通費	1,287,959	60,000	800,000	427,959
機材・備品費	パソコン追加購入・事務用品・測定用消耗品	559,611	100,000		459,611
協力者謝礼など	その他の中のスタッフ人件費に含まれる				
外部委託費	測定用、会議用資料印刷費・広報広告	172,020	100,000		72,020
その他	測定スタッフ人件費（6,674,806円）・通信 費・水道光熱費・賃料（2,548,317円）・その 他雑費（112,663円）	9,335,786	190,000		9,145,786
合 計		11,442,656	500,000	800,000	10,142,656

# 放射能市民測定室

Tarachine 

市民による食品・体内放射能測定と  
脱原発をめざす活動



測定室

## 食材測定

Berthold社製LB2045

ATOMTEX社製AT1320A

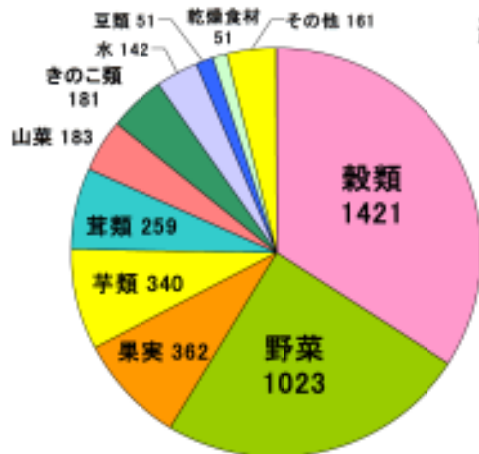


測定核種 素131、 134、 137、 40

測定室内 0.08 $\mu$ Sv 遮蔽 0.04 $\mu$ Sv

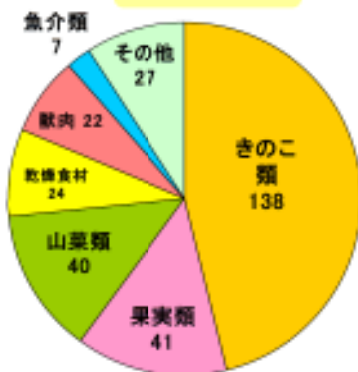
## 2011年11月～2013年5月食材検体数内訳

総検体数  
4196件



## 食品基準値100Bq以上の食材

299件



《きのこ類》  
クサウラベニタケ 7660 Bq/kg

《果実類》  
果 670 Bq/kg

《山菜類》  
こしあぶら 1015 Bq/kg

《乾燥食材》  
乾燥椎茸 5190 Bq/kg

《獣肉》  
いのしし肉 594 Bq/kg

《魚介類》  
うなぎ 465 Bq/kg

種類	採取地	セシウム合計 (Cs137+134/kg)
クサウラベニタケ	いわき市三和町	7660 Bq
チチタケ	いわき市三和町	7180 Bq
IPPONシメジ	いわき市小川町	5530 Bq
乾燥椎茸	いわき市永崎	5190 Bq
原木椎茸	いわき市三沢町	4240 Bq
ムラサキシメジ	双葉郡川内村	3950 Bq
原木椎茸	双葉郡楢葉町	3692 Bq
原木椎茸	いわき市平	3650 Bq
ショウゲンジ	北茨城市関本町	3490 Bq
原木椎茸	いわき市大久町	3350 Bq

## 福島県産以外の食材検体

原木椎茸	北茨城市	617 Bq/kg
	高萩市	993 Bq/kg
粉茶	静岡県	110 Bq/kg
茶葉	静岡県	246 Bq/kg
	静岡県	292 Bq/kg
	静岡県	36 Bq/kg
	茨城県	248 Bq/kg
	茨城県	138 Bq/kg
ゆず	茨城県	98 Bq/kg
	茨城県	120 Bq/kg

## 全身測定



ATOMTEX社製AT1316

《測定対象》

- ・2歳以上
- ・身長80cm以上
- ・体重15kg以上

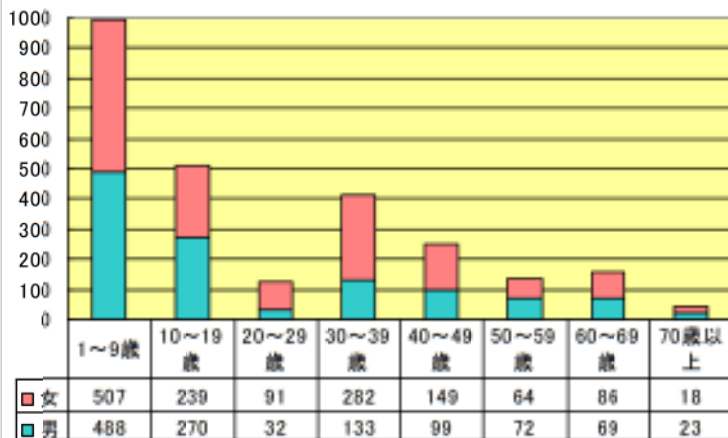
5分間じっと座っていただける方

《測定核種》

- セシウム137、134
- カリウム40



## 2011年11月～2013年5月 ホールボディカウンター被験者数 内訳



## 土壌測定

Berthold社製LB2045



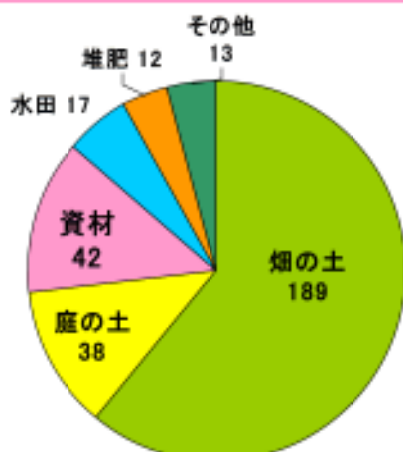
検体内容

- ・畑の土
- ・庭の土(枝庭)
- ・田んぼの土
- ・堆肥
- ・資材(稲わら、もみがら、牧草、炭など)

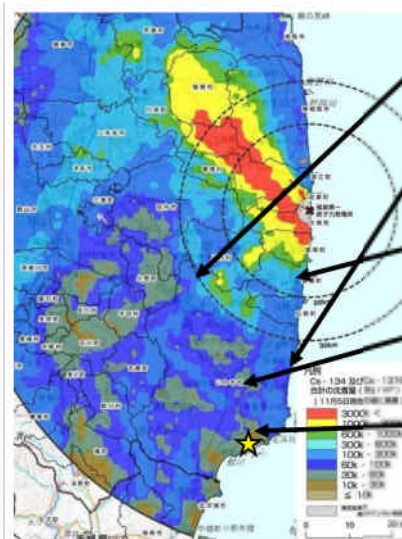
測定核種

- セシウム137、134
- カリウム40

## 2011年11月～2013年5月土壌検体数内訳



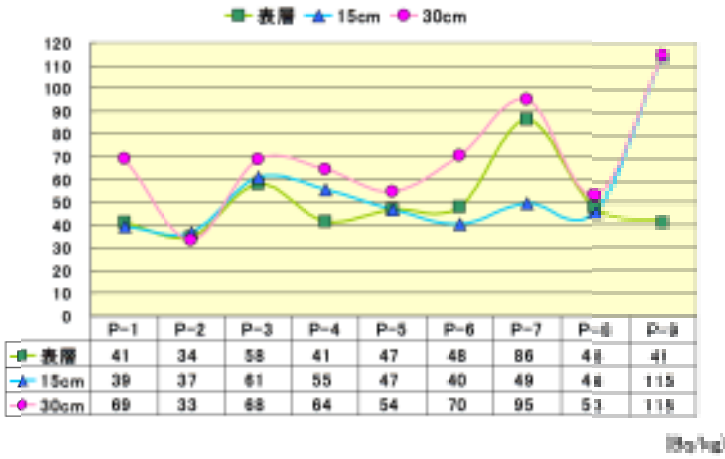
総検体数  
311件



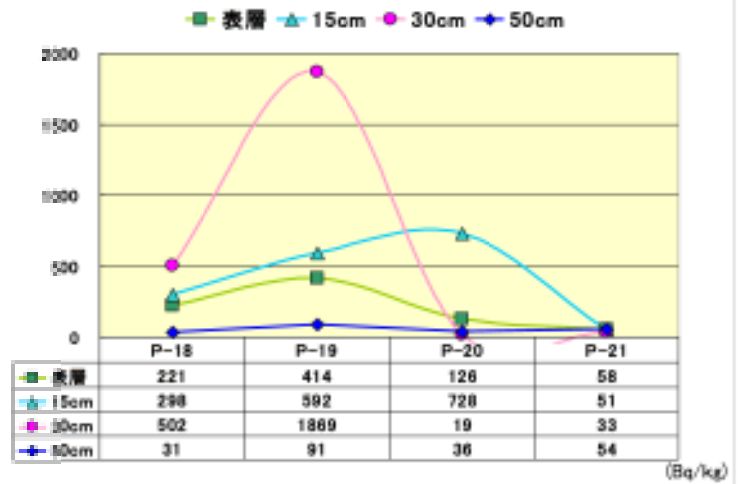
- 畑の土 14525 Bq/kg (いわき市川前町)
- 庭の土 14762 Bq/kg (いわき市四倉町)
- 堆肥 13800 Bq/kg (双葉郡楢葉町)
- 校庭の土 2377 Bq/kg (いわき市平)
- 木のチップ 2995 Bq/kg (いわき市鹿島町)

★ 測定室

## 海岸砂浜の測定結果 1



## 海岸砂浜の測定結果 2



## 福島以外の海岸砂浜の測定結果

### 【茨城県北茨城市中郷町】

表層 203 Bq/kg  
 15cm 29 Bq/kg  
 30cm 125 Bq/kg  
 50cm **1288** Bq/kg

### 【湘南海岸】

表層 9 Bq/kg  
 15cm 7 Bq/kg  
 30cm 11 Bq/kg  
 50cm 11 Bq/kg